

～ほけんだより～



体調をくずしている時の登園のめやす

No.95

R5年8月

封戸保育園

登園の目安は子ども自身の健康回復と、他の子どもへの感染の可能性を考えて決められおり、厚生労働省からガイドラインが出されています。健康回復が不十分な状態で登園すると病気の回復が遅れたり、新たな感染症にかかりやすくなったりするからです。また、感染力が強い段階で登園すれば他の子どもへの感染を引き起こすことになります。

最近、特に問い合わせの多い発熱・下痢・咳・鼻水、鼻づまりで体調をくずしている時の登園の目安を以下にまとめていますので、ご理解をお願いします。また、インフルエンザや水ぼうそうなど登園基準が決まっている場合はこの目安は該当しません。主治医の診察を受けた場合は主治医の指示に従ってください。



1 発熱

★登園の目安：前日は一昼夜(24時間)解熱剤を使用せずに解熱していること。

★理由：特に前日の夕方から夜にかけて 38℃以上の発熱が認められた場合、あるいは解熱剤を使用して解熱した場合は、翌朝解熱していても在園中に再度発熱する可能性が高いためです。在園中に **38℃以上の発熱、または 37℃台の熱でも状態によりお迎え**をお願いすることがあります。また、子どもは緊張やストレス、疲れなどから体温が高くなることもあり、帰宅後に熱がなかった、ということもあります。病気による熱と心因性の熱を判別することは難しいのですが、お迎えの連絡は時間をあけて数回の検温を行った後、体温だけでなく園でのようすや全身状態も考慮して判断しています。その点をご理解していただければと思います。

2 下痢

★登園の目安：前日朝から当日朝までの **24 時間に、元気で食欲があり、軽度の下痢が 3 回以内**であること

★理由：下痢の多くはウィルス感染で起こります。また、発病後 1 週間以上にわたり便中にウィルスを排泄しますし、ごく少量のウィルスでも感染しますので原則として **下痢をしている間は登園を控えていただくのが望ましい**です。ただ、在園中に軽度の下痢が 1 回であれば、保育者が慎重に対処いたします。ただし、**大量の下痢、頻回の下痢、血便、嘔吐、機嫌の悪さ等が出現すればお迎え**をお願いすることがあります。

3 咳・鼻水・鼻づまり

★登園の目安：登園前夜は、咳や鼻水が出ていても **十分に眠れている**こと

★理由：咳や鼻水、鼻づまりで夜間に起きたりする場合は、子どもの体力は回復しないと考えられ、すぐに次の病気をもらってしまいます。いつもの元気がないなら登園を控えましょう。在園中に咳や鼻水で生活に支障をきたす場合(**食べられない、眠れない、遊べない**など)は、**お迎え**をお願いすることがあります。

お仕事をしている保護者の方にとっては連続で会社を休むことは大変ですが、体力が落ちているときは他の病気をもらってくる危険性もあります。子どもの様子によっては登園や受診などの判断に迷うことも多いですが、子どもの様子に異変を感じたら無理をさせず、ゆっくり安静にして過ごすことが一番大切です。

豊後高田市では高田中央病院で「病児保育」(発熱などの症状があっても保育可能)、花いろで「病後児保育」(回復期にほぼマンツーマンで保育が受けられる)が利用できます。子どもの状態にあった生活ができるように考えてあげられるといいですね。気になる事がある時はかかりつけ医に、また保育園でもご相談ください。